

## 11. 動物愛護について (問31～問32)

問31 人と動物との共生を目指した動物の愛護や管理に関する豊橋市の現状について満足していますか。

【あてはまるもの1つに○】  
(n=2,200)

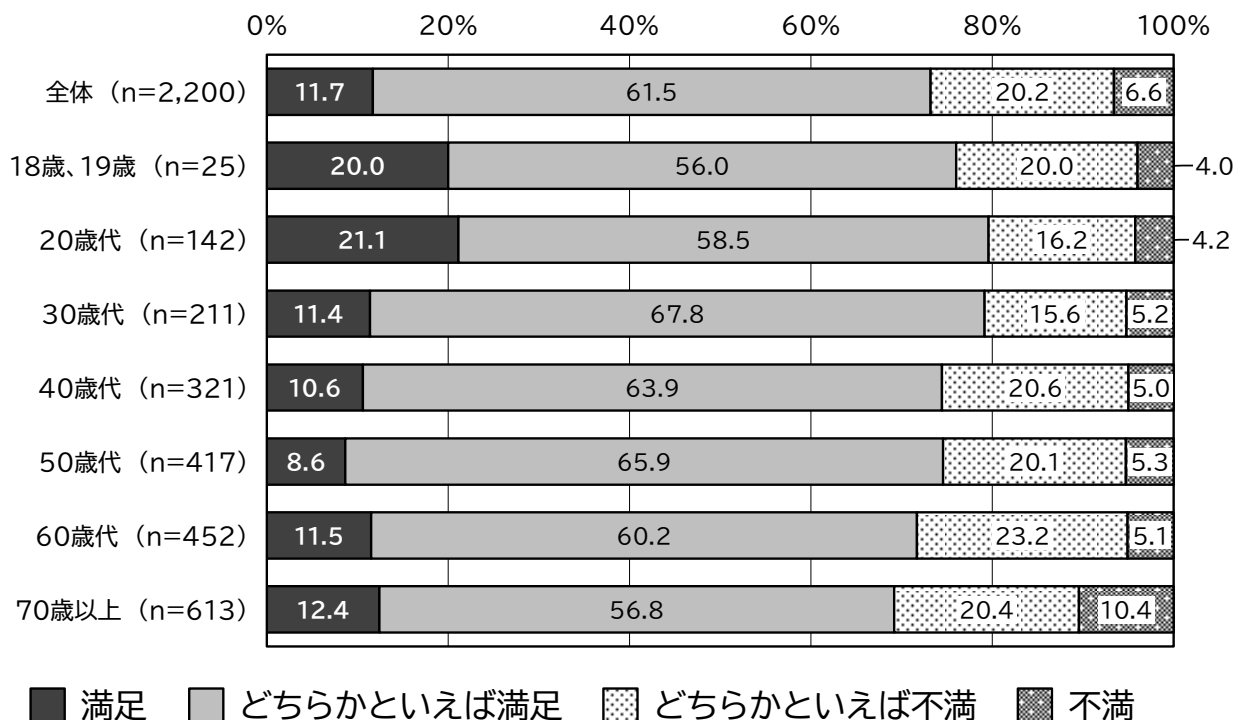
### (1) 全体的傾向

「どちらかといえば満足」と回答した人の割合が 61.5%と最も高くなっている。「満足」と回答した人を合わせた割合が 73.2%となっている。

### (2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「どちらかといえば満足」と回答した人の割合が 56.0～67.8%で最も高くなっている。なお、「満足」と回答した人を合わせた割合は、69.2～79.6%となっている。

なお、18歳、19歳、20歳代では、「満足」と回答した人の割合が 20.0～21.2%と他の年代と比べて高くなっている。



問32 豊橋市では、令和7年秋の開所に向け、動物愛護センターの整備を進めています。動物愛護センターの開所後、どのような取り組みに期待しますか。

【あてはまるものを3つまで選びその番号を記入】

(n=2,299)

### (1) 全体的傾向

「保護された動物の新たな飼い主への譲り渡し」と回答した人の割合が52.6%と最も高くなっている。次いで「動物の適正な飼い方に関する啓発」が48.7%、「保護された動物の心身の健康に配慮した適正な飼育」が43.2%となっている。

### (2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「保護された動物の新たな飼い主への譲り渡し」は、45.1~66.7%と高くなっている。特に18歳、19歳、30歳代から60歳代では最も高くなっている。その他の年代では、20歳代では、「保護された動物の心身の健康に配慮した適正な飼育」が52.1%、70歳以上では、「動物の適正な飼い方に関する啓発」が52.1%と最も高くなっている。

なお、年代が上がるほど「動物の適正な飼い方に関する啓発」では回答した人の割合が高くなる傾向、「保護された動物の心身の健康に配慮した適正な飼育」では低くなる傾向がある。

